

令和8年3月12日

法人企業景気予測調査

近畿管内 令和8年1～3月期調査結果概要（調査時点 令和8年2月15日）

1. 企業の景況

- 景況判断 BSI は、**9期連続の「下降」超。**
- 大企業は**3期連続の「上昇」超**、中堅企業は「下降」超に転化、中小企業は**17期連続の「下降」超。**

景況判断 BSI (全規模・全産業) (単位は%ポイント)

| 過去調査 | | 現状判断 | 見通し | |
|--------|----------|--------|--------|--------|
| 7年7～9月 | 7年10～12月 | 8年1～3月 | 8年4～6月 | 8年7～9月 |
| ▲2.9 | ▲1.7 | ▲5.7 | ▲1.8 | +0.7 |

| (規模別) | |
|-------|-------|
| 大企業 | +3.1 |
| 中堅企業 | ▲6.0 |
| 中小企業 | ▲12.4 |

| (産業別) | |
|-------|------|
| 製造業 | ▲6.1 |
| 非製造業 | ▲5.4 |

(※) 景況判断 BSI は、前四半期と比較しての「上昇」-「下降」社数構成比。

製造業 ▲6.1%ポイント

情報通信機械などが「上昇」超となっているものの、国内需要の低迷などにより、鉄鋼、金属製品などが「下降」超となっていることから、全体では「下降」超。

- 鉄スクラップの輸出量の増加や建物解体工事の停滞により国内供給量が減少していることを背景に仕入価格が上昇している。価格転嫁を進めているが、鉄鋼材の需要は鈍く交渉は難航。(鉄鋼、中堅企業)
- 住宅価格が上昇傾向であることから需要が低迷し、建築資材の受注が減少。(金属製品、大企業)
- 原材料費の高止まり、人件費の上昇に伴い価格改定を実施したところ、買い控えが見られた。(食料品、中堅企業)
- 包装材の原材料である紙の価格や人件費などのコストが上昇しているが、販売価格に十分に転嫁できていない。(パルプ・紙、中堅企業)
- 半導体の製造工程で使用されるテープの需要が回復基調。(情報通信機械、大企業)
- 食料品製造現場の人手不足に起因して省人化に向けた機械の受注が好調。(生産用機械、大企業)

非製造業 ▲5.4%ポイント

建設などが「上昇」超となっているものの、国内需要の低迷などにより、卸売、運輸・郵便などが「下降」超となっていることから、全体では「下降」超。

- 引き続き、人手不足により建設工事が延期しており、建築資材の受注が減少。(卸売、大企業)
- 肥料などのコスト上昇により青果物の仕入価格が上昇しているものの、物価高の影響で消費者の節約志向が高まっていることから、十分に価格転嫁ができない。(卸売、中堅企業)
- 人件費の増加に伴い運賃改定を行った影響もあり利用客が減少。(運輸・郵便、中小企業)
- 大阪・関西万博開催の反動による国内客の減少や中国人訪日客の減少による影響を中国以外の地域からの訪日客で補えていない。(宿泊・飲食サービス、中堅企業)
- データセンターなどの産業施設に関する受注が底堅いほか、資材価格の上昇を価格転嫁できている。(建設、大企業)
- 活況な株式市場を背景に顧客の株取引が増加し手数料収入が増収。(金融・保険、大企業)
- 中国人訪日客の売上が減少する一方、国内や中国以外の地域からの訪日客の売上が増加。(小売、大企業)

2. 雇用

- 従業員数判断 BSI は、**59 期連続の「不足気味」超。(30.4%ポイント)**。
- 製造業は 27.0%ポイント、非製造業は 32.8%ポイントの「不足気味」超。

(※) 従業員数判断 BSI は、期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比。

✓雇用にかかる企業の声

〈人手不足の状況〉

- ・ 数年間 3～7%の賃上げを継続しているが採用に苦戦している。(鉄鋼、中小企業)
- ・ 製造ラインの人手不足から経営陣も現場で作業に参加しているが、受注の増加に対応しきれていない。(繊維、中小企業)
- ・ 大型の受注獲得を図りたいが、販売促進を担う営業人材が不足している。(繊維、中堅企業)
- ・ 設備工事の現場管理者が不足。新卒・中途問わず採用を増やしているが、現場の管理ができるほどの経験を積ませるには年数がかかる。(建設、大企業)
- ・ 出店に合わせてアルバイトやパートタイム労働者を確保したいが、郊外に立地する店舗が多く通勤の不便さを理由に応募が少ない。(小売、大企業)

〈人手不足に対する取組〉

- ・ 社員紹介制度を導入しており、半年定着した際に紹介者と被紹介者双方に一時金を支給している。(化学、中堅企業)
- ・ 技術職が不足するなか、専攻に関係なく関心や意欲を重視した採用を行っている。(生産用機械、中小企業)
- ・ 学校への訪問や学生向けの社会見学受け入れなど、将来の担い手確保に取り組んでいる。(輸送用機械、中小企業)
- ・ アルバイト採用時に SNS 募集を導入した。導入前から応募数が倍増。(運輸・郵便、中堅企業)
- ・ 顧客からの注文処理を自動で行うシステムを導入したことにより、業務時間を削減でき、業務効率化に寄与している。(卸売、大企業)

3. 売上高・経常利益 (対前年度比)

- ・ **7 年度の売上高は、全産業で 3.0%の増収見込み**
製造業は、情報通信機械、化学などが増収となることから、全体では 1.8%の増収見込み。
非製造業は、卸売、小売など、ほとんどの業種で増収となることから、全体では 3.7%の増収見込み。
- ・ **8 年度の売上高は、全産業で 2.6%の増収見込み**
- ・ **7 年度の経常利益は、全産業で 7.6%の増益見込み**
製造業は、情報通信機械、輸送用機械などが増益となることから、全体では 10.7%の増益見込み。
非製造業は、卸売、運輸・郵便などが増益となることから、全体では 5.0%の増益見込み。
- ・ **8 年度の経常利益は、全産業で 14.6%の減益見込み**

4. 設備投資 (対前年度比)

- ・ **7 年度は、全産業で 11.5%の増加見込み**
製造業は、鉄鋼、輸送用機械などが前年度を上回っていることから、全体では 11.6%の増加見込み。
非製造業は、建設、電気・ガス・水道などが前年度を上回っていることから、全体では 11.4%の増加見込み。
- ・ **8 年度は、全産業で 13.8%の増加見込み**